

We are proud of Kizugawa-city.

KYOTO KIZUGAWA CITY



風にきづいて未来をきづく



京都府木津川市

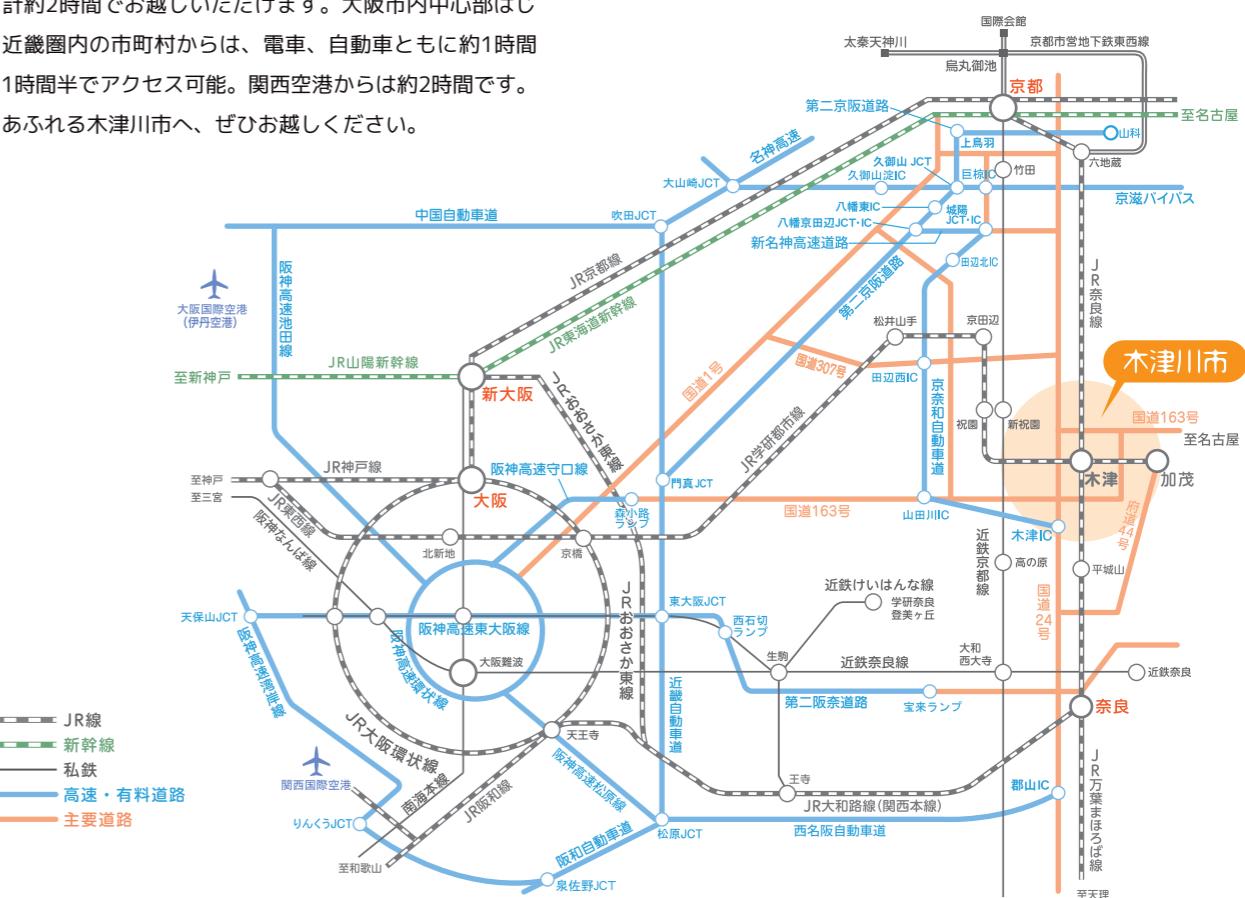
## 木津川市をもっと知ってみませんか 木津川市はどこにある？

近畿のほぼ中央に位置し、京都・大阪の中心部から約30キロメートル圏内にある木津川市。京都府内では京都市に次ぐ数の国指定有形文化財を有し、豊かな自然・里山が広がっています。また、先人から受け継がれてきた歴史遺産とのどかな景観が楽しめる一方、近年では国家プロジェクトである「関西文化学術研究都市」の一翼を担う都市としての建設が進められています。



## 木津川市を訪ねてみませんか 木津川市へのアクセス

首都圏からは京都駅まで新幹線、京都駅からJR在来線、近鉄電車に乗り継いで計約4時間、中部地方・中国地方からは同じく計約2時間でお越しいただけます。大阪市内中心部はじめ、近畿圏内の市町村からは、電車・自動車とともに約1時間から1時間半でアクセス可能。関西空港からは約2時間です。魅力あふれる木津川市へ、ぜひお越しください。



\*上記の路線図の一部路線、駅やインターチェンジは省略しています。

KYOTO KIZUGAWA CITY  
糸手  
Kizuna-Bito

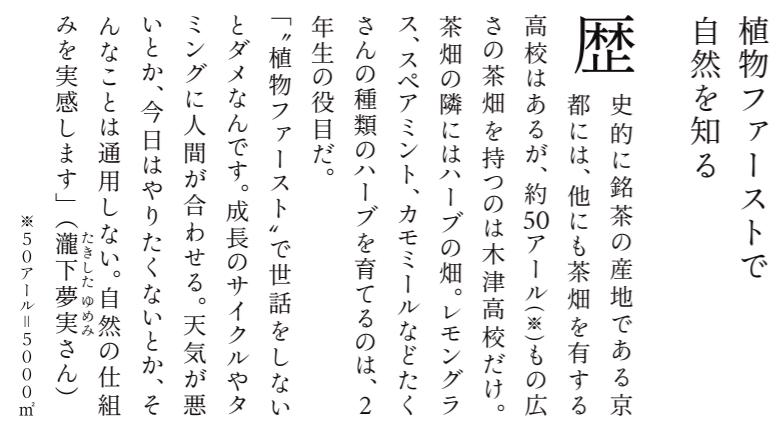
発行：木津川市役所 学研企画課  
〒619-0286 京都府木津川市木津南垣外110-9  
Tel: 0774-75-1201  
E-mail: kikaku@city.kizugawa.lg.jp

取材・編集制作：木津川市クリエイターブル  
editor: 松田祥宏 designer: 佐藤穂高  
writer: 山川郁子 photographer: 岡田貴子  
E-mail: kizugawacreator@gmail.com



# ものづくりから広がる、ニッポンの心意気

広大な敷地を持つ木津高校。敷地内の茶園と製茶工場は、日本遺産構成物に認定されている。**2** 20年以上、無農薬、無除草剤、無化学肥料で栽培しているお米。生徒たちは、裸足で田に入り、田植えや除草などを行う。**3** 茶葉をチェック中の生徒たち。1年生から手摘みによる茶摘みを行い、2年生から茶の製造や知識について学ぶ。**4** 木津高校が生産する荒茶は、農業生産工程管理の国際基準“グローバルGAP”を得。食品安全や環境保全に配慮した方法で栽培している。**5,8** 渋み少なく、甘みがある和紅茶も製造され、イベントや市内のスーパーなどで販売されている。**6** 茶葉へ圧力を加え、水分のむらを解消する捻機など、緑茶製造機材の使い方も習得する。**7** オリジナルハーブティは、紅茶とハーブはもちろん、甘味をつけるステビアまで100%木津高校産。ミント系の“フレッシュ”は爽やかな味わい。レモン系の“リラックス”は清々しい香りで美味。



「“植物ファースト”で世話をしないとダメなんです。成長のサイクルやタイミングに人間が合わせる。天気が悪いとか、今日はやりたくないとか、そんなことは通用しない。自然の仕組みを実感します」（瀧下夢実さん）

年生の役目だ。

さの茶畑を持つのは木津高校だけ。茶畑の隣にはハーブの畑。レモングラス、スペアミント、カモミールなどたくさんの種類のハーブを育てるのは、2

歴 史的に銘茶の産地である京都には、他にも茶畑を有する高校はあるが、約50アール(※)もの広

## 植物ファーストで 自然を知る

A photograph showing four people from the back, standing in a horizontal line. They are all wearing identical light blue waterproof jackets with dark blue caps and dark pants. The person on the far left has their hands in their pockets. The other three individuals have their arms slightly bent at the elbows, with their hands held behind their backs.



■木津高校の紅茶・ハーブティとお米は木津川市ふるさと納税の返礼品です。

**寄附額 10,000円**

お茶と関わることを  
仕事にしたい

収 穩したお茶は、茶工場で緑茶  
に加工するほか、紅茶は乾燥  
したハーブとブレンドして、オリジナ  
ルのハーブティも作る。できあがった  
お茶は、近隣の植物園やスープバーで  
行われるイベントなどに出店して販  
売。売上金を集計し、次のイベントに  
出店するための費用にあてるなど、  
経営の視点も学んでいく。

どうアピールすれば、買ってもらえ  
るのか。商品の並べ方は。実際にお客様



\*写真撮影時以外は、マスクを着用しています。

絆人3  
Close Up

笑顔で作る、元気を運ぶ  
高校生からのおくりもの

京都府立木津高等学校  
システム園芸科の生徒さん



1 901年に設立された、相楽  
津高校。木津川市木津地区の高台に  
立地し、麓には学校水田が広がる。  
生徒たちが栽培する「みつひかり」  
は、米・食味鑑定士協会が主催する  
「お米甲子園」で通算6回入賞。適  
度な粘りと、米らしい甘みを感じる  
味は、地元でも評判が高い。

校門を入ると、広大な敷地には、  
温室や実習棟、茶畠のほか、高校と  
しては京都府で唯一の茶工場もあ  
る。訪れたのは早春。水田は準備中  
だったが、システム園芸科・茶専攻の  
4人の高校2年生に話をきいた。

「難しいけど、手をかけるとちゃんと  
育つ。植物が育っていく途中が一番お  
もしろい」と話すのは上田光流くん。

教室の授業よりも  
農業実習が好き！



